

職員団体との交渉の議事要旨

(開催日時)

平成28年3月29日(火) 15:00~15:59(59分間)

(開催場所)

室蘭開発建設部2階会議室

(出席者)

当局側(室蘭開発建設部)

大屋 充史(室蘭開発建設部次長)、柏倉 歩(総務課長)、佐野 順司(総務課長補佐)

職員団体側(全北海道開発局労働組合室蘭支部)

島 一雄(執行委員長)、猪狩 光恵(書記長)、小川 亮司(執行委員)、中野 久嗣(執行委員)

(議題)

- 1 当部における超過勤務の縮減について
- 2 当部における育児休業等を活用しやすい職場環境の整備について
- 3 当部本部庁舎における職場環境の改善について

(要求書に対する回答)

要求書のうち、取り決めた交渉議題について回答(別紙のとおり)

(発言概要)

【議題1：当部における超過勤務の縮減について】

(職員団体) 超過勤務の要因を聞かせてもらいたい。

(当局) 入札契約や設計積算・審査などの発注関連業務や会計検査対応、災害対応、予算関係資料の作成、事業計画の変更に伴う事務処理が主な要因である。

(職員団体) 課所によっては業務が一人に偏っているところがあるが、課所長への指導はどのように行っているのか。

(当局) 業務の性質や時期によっては超過勤務が避けられない場合はあるが、業務の円滑な進行管理や業務量に応じた業務配分、応援体制の整備、計画的な業務処理及び平準化の徹底を行うよう、管理者を指導しているところである。

(職員団体) 調査・報告物について、依然として無理な依頼があると聞いているが、当局としてこのような現状をどう考えているか、聞かせてもらいたい。

(当局) 調査依頼については、趣旨・目的等を明らかにし、必要最小限の内容にするなど簡素・効率化を図るとともに、勤務時間外に発出ししないなど、引き続き管理者への指導を徹底していきたい。

【議題2：当部における育児休業等を活用しやすい職場環境の整備について】

(職員団体) 男性が育児休業を取得しやすくするには、まずは職場環境づくりが大事である。職員が気がねなく取得できるよう、管理者の意識改革を含め指導をしてもらいたい。

(当局) 男性職員による育児休業の取得の促進については、「女性職員活躍と職員のワークライフバランスの推進のための国土交通省取組計画」に基づき取組を推進しており、今後も両立支援制度を活用しやすい職場環境づくりに努めていく考えである。

【議題3：当部本部庁舎における職場環境の改善について】

(職員団体) 書庫が不足しているが、その対応策を聞かせてもらいたい。

(当局) 当部としては、これまでも必要な環境整備を行ってきたところであるが、重複文書や参考資料など、廃棄可能な書類については廃棄するなど、対応していく考えである。

※文責は室蘭開発建設部当局（今後修正があり得る）

交渉議題に係る回答メモ

平成28年3月29日

○当部における育児休業等を取得しやすい職場環境の整備について

職員が職業生活と家庭生活の両立を図ることができるよう職場全体で支援していくことは、当局としても重要であると考えている。

当局においては、「女性職員活躍と職員のワークライフバランスの推進のための国土交通省取組計画」に基づき、男女問わず職員が責任と誇りをもって生き生きと働けるような環境づくりを目指し、取組を推進しているところであり、育児休業をはじめとする各種両立支援制度について、管理者に対し、諸会議等の場で、ワークライフバランスの意義を含め周知しているほか、管理者・職員の双方に対しては、制度の内容、意識啓発リーフレット等をイントラネットへ掲載し周知しているところである。

また、各職場の管理者に対しては、関係職員へ適時・適切に両立支援制度の情報提供を行うとともに、休業者等に係る業務の処理方策を早期に検討するなど、制度を活用しやすい職場環境づくりに努めるよう、引き続き指導していく考えである。

○当部本部庁舎の職場環境の改善について

当局としては、配付予算の範囲内で緊急度合等を勘案しながら、安心して働ける職場環境の整備に引き続き努めていく考えである。